

教科目名 機械製図Ⅰ (Machine Drawing Ⅰ)

学科名・学年 : 機械工学科 1年

単位数など : 必履修 2単位 (前期1コマ, 後期1コマ, 学習保証時間 45時間)

担当教員 : 奥山詳三郎

授業の概要			
立体的な機械部品を製作図として表すための必要な基礎製図法を学ぶ。			
達成目標と評価方法		大分高専目標 (B2), JABEE 目標 (g)	
(1) 立体的な部品を図示できる。(定期試験と課題) (2) その図形に製作図として必要な図面上の基本的な指示が正しくできる。(定期試験と課題)			
回	授業項目	内容	理解度の自己点検
1	第1章 機械製図の基礎 1-1 機械製図と規格	○機械製図に関する J I S 規格の分類を理解し製図用具を用いて文字と線、基礎的な課題図形がかける。	【理解の度合い】 【課題の点数】 点
2	1-2 製図用具の使い方		
3	1-3 図面に用いる文字と線		
4-7	1-4 基礎的な図形の書き方		
8	前期中間試験		【試験の点数】 点
9	前期中間試験の解答と解説	○部品をみて投影図、等角図、キャビネット図、展開図の課題作図がかける。	【理解の度合い】 【課題の点数】 点
10-11	1-5 投影図の書き方		
12	1-6 立体的な図示法		
13-14	1-7 展開図		
15	前期末試験		【試験の点数】 点
	前期末試験の解答と解説		
16-18	第2章 製作図 2-1 製作図のあらまし	○前期で学習した図形の書き方を基に実際の製作図にする為のいろいろな図形の表し方を作図し、断面図、回転図示法、補助投影図法等がかける。	【理解の度合い】 【課題の点数】 点
19-22	2-2 図形の表し方		
23	後期中間試験		【試験の点数】 点
24-26	後期中間試験の解答と解説 2-3 寸法記入法	○製作図として必要な寸法記入法、公差記入法について作図課題をとおして図に記入できる。	【理解の度合い】 【課題の点数】 点
27-29	2-4 寸法公差		
30	学年末試験		【試験の点数】 点
	学年末試験の解答と解説		
履修上の注意	課題作図に重点をおき提出期限を守らせる。		【総合達成度】
教科書	林洋次ら, 「機械製図」, 実教出版.		
参考図書			
関連科目	機械製図Ⅱ		
総合評価	達成目標の(1)、(2)について定期試験40%、課題・小テスト40%(ただし、重み付け配点)、授業態度20%で総合評価する。自己都合欠課は1コマあたり1点減点する。		【総合評価】 点